

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37107	レクリエーション実習 Practice of Recreation	秦 真人	専門	1	選択	1・2 年後期 集中
科目の概要						
レクリエーション実習は「理論」と「実技」の学習を踏まえて、実際にそれらがどのように使われるのかということを経験学習する。基本的に「指導参加(現場実習)」と「事業参加」の2つに分けられる。レクリエーション・インストラクターの資格取得に必要な、基礎知識・基礎技能を学外で習得することを旨とする。そして、その中で建学の精神と社会人基礎力の修得をめざしていく。						
学修内容			到達目標			
① 生涯を通じて日常的な生活においてもレクリエーションが習慣化される			① 日常生活の中でレクリエーション活動が習慣化できる			
② 外部のイベントを通して、知らない人とのコミュニケーション能力を高め、社会性を身につける			② 外部のレクリエーション活動を通して社会性を身につけることができる			
③ 基本的なレクリエーション技能を身につけ、日常生活における生活活動の円滑化を図る			③ レクリエーション活動の基礎的スキルを身につけ、円滑な活動ができるようになる			
④ 社会的ルールや運営方法などを身につける			④ ルールや運営方法などを理解し、運営能力を身につけることができる			
⑤ 様々なレクリエーション種目を体験することにより、レクリエーションに対する理解を深める			⑤ 全体を通じてレクリエーションに対する理解を深め、レクリエーション実践の意識を高めることができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前に踏み出す力	主体性	積極的にイベントに参加し、自分の役割を果たす				
	働きかけ力					
	実行力	イベント活動に粘り強く取り組み、その日の目標を達成する				
考え抜く力	課題発見力	イベント活動を通じて、レクリエーションについての課題を発見する				
	計画力	どのレクリエーション・イベントに参加するか計画する				
	創造力	新たなレクリエーション種目を創り出すことを念頭に活動する				
チームで働く力	発信力	レクリエーションの中で自分の考えを提案する				
	傾聴力	レクリエーションの中で、他人の考えをしっかりと把握する				
	柔軟性	レクリエーションの中で意見の相違があっても、柔軟に対処する				
	状況把握力	レクリエーションの中で、どういう場面であるかを常に把握して対処する。				
	規律性	レクリエーションの中でのルールを守る				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし。必要に応じて、各授業時間にプリントを配布。 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:「レクリエーション論」、「レクリエーション実技」、「生涯スポーツ」、「アウトドア演習」他 資格との関連:レクリエーションインストラクター						
学習上の助言			受講生とのルール			
基本的には学外のレクリエーションイベントの現場に赴き、体験してくる。(交通費・参加費は実費各自負担) 事業参加は、レクリエーション協会指定のイベントで自分が選択した2つのイベントに体験参加し、指導参加については、指定の条件下でトータル6時間集中してスタッフとして体験参加し、主催者から参加証明印をもらってくる。			学外において、変則的な集中活動になるので、活動内容を十分に理解し、外部諸団体に迷惑をかけないように注意すること。特に指定時間や、連絡等は必ず決められたように守ること。直前のキャンセルはできません。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の課題に対して、レクリエーション活動を理解して実践してきたかどうかをレポートから評価する。 ・外部の人たちとのコミュニケーションがうまく取れていたかどうかをレポート内容から評価する。
		②		
		③		
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (実技)	30	①		<ul style="list-style-type: none"> ・最終日に体験レポートを発表し、全体を通じてレクリエーションに対する理解を深められ、レクリエーション実践の意識を高めることができたかどうか評価する。
		②		
		③		
		④		
		⑤	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・前項に明記した社会人基礎力に関する行動事例にも基づいて学修態度を評価する。 (主体性) 積極的にイベントに参加し、自分の役割を果たすことができているか。 (実行力) イベント活動に粘り強く取り組み、その日の目標を達成しているか。 (課題発見力) イベント活動を通じて、レクリエーションについての課題を発見しているか。 (創造力) 新たなレクリエーション種目を創り出すことを念頭に活動することができるか。 (発信力) レクリエーションの中で自分の考えを提案することができるか。 (傾聴力) レクリエーションの中で、他人の考えをしっかりと把握することができるか。 (規律性) 外部の組織・団体に迷惑をかけていないかどうかを含め、レクリエーションの中でのルールを守ることができていたかを評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>授業で学んだ様々なレクリエーションの知識を体系的に理解し実践し、将来的に習慣化されと思われる場合 A(優)。 さらに、将来的に効果的に実践させることができ、特に指導的立場にいると思われたら S(秀)となる。</p>	<p>授業で学んだ様々なレクリエーションの知識を理解し、それを活かした実践ができると共に技能の向上が図れた場合 B(良)。 授業に参加し、個人技能の向上が図れなくても、主体的に行動することができればC(可)である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	科目全体事前指導	教員からの説明を聞く	レクリエーション実習についての概要説明(4月予定)を聞き、内容を理解することができる。	(予習)レクリエーションとは何かシラバスで確認する。 (復習)授業内容が理解できたかを確認する。	60	主体性 傾聴力
2週 /	事前指導	教員からの説明の後、実習計画を立てる (復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	指導参加(現場実習)についての調整をすることができる。	(予習)どのような実習先があるか調べる。 (復習)実習計画を再度、確認する。	60	主体性 傾聴力 計画力
3週 /	「指導参加(現場実習)」①	学外実習(集中) アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対し口答でフィードバック)				
4週 /	「指導参加(現場実習)」②	学外実習(集中) アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)				
5週 /	「指導参加(現場実習)」③	学外実習(集中) アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	選択したレクリエーション・イベントで指導体験「指導参加(現場実習)」をすることができる。	(予習)選択したレクリエーションイベントがどのような歴史があり、どのようなルールかについて事前に調べる。	0	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
6週 /	「指導参加(現場実習)」④	学外実習(集中) アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対し口答でフィードバック)		(復習)実践結果を確認し振り返る。		
7週 /	「指導参加(現場実習)」⑤	学外実習(集中) アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対し口答でフィードバック)				
8週 /	「指導参加(現場実習)」⑥	学外実習(集中) アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対し口答でフィードバック)				

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	「事業参加」①	学外実習(集中) アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対し口答でフィードバック)				
10週 /	「事業参加」②	学外実習(集中) アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	レク協会認定のイベントの中で、各自任意のイベント等を選択し、選択したレクリエーション・イベント1つ目で体験参加して、その種目の理解を深めることができる。	(予習)選択したレクリエーションイベントがどのような歴史があり、どのようなルールかについて事前に調べる。 (復習)実践結果を確認し振り返る。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
11週 /	「事業参加」③	学外実習(集中) アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対し口答でフィードバック)				
12週 /	「事業参加」④	学外実習(集中) アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対し口答でフィードバック)				
13週 /	「事業参加」⑤	学外実習(集中) アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	レク協会認定のイベントの中で、各自任意のイベント等を選択し、選択したレクリエーション・イベント2つ目で体験参加して、その種目の理解を深めることができる。	(予習)選択したレクリエーションイベントがどのような歴史があり、どのようなルールかについて事前に調べる。 (復習)実践結果を確認し振り返る。	60	
14週 /	「事業参加」⑥	学外実習(集中) アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対し口答でフィードバック)				
15週 /	まとめ	体験レポートを発表する (復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	体験レポート作成し発表することができる。	(予習)体験レポートを作成する。 (復習)発表内容を記録することで確認する。	60	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力